

令和 6 年度
社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会
事業報告書



社会福祉法人 泉大津市社会福祉協議会

令和6年度 社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会事業報告

令和6年度は、社会全体がポストコロナ時代への転換を進める中で、社会福祉協議会においても「地域共生社会」の実現に向け、従来の事業の深化と新たな課題への対応を両立させながら、事業の展開を進めました。

地域福祉活動においては、地区福祉委員会による「いきいきサロン」や「子育て支援」「世代間交流」などの継続的な取組が活性化し、多世代が参加する地域行事や学びの場が数多く開催されました。また、小地域ネットワーク活動では、見守り体制の強化や高齢者の安心を支える支援の工夫が進み、関係機関・団体との連携が一層深まりました。

第5次泉大津地域福祉計画・第4次地域福祉活動計画は、各地区のワークショップで寄せられた多くの意見を基に、住民主体の視点を重視した計画として新たにスタートし、福祉のまちづくりに向けて、自治会や福祉関係団体などとの協働体制の強化に取り組みました。

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で生活ができるよう、介護予防や認知症支援、生活支援体制の整備に取り組みました。認知症への理解促進のためフォーラムの開催や当事者やその家族への居場所づくりを推進しました。一方で、生活支援コーディネーターが主体となり、地域支援や住民ニーズに応じた講座開催を行い、高齢者の社会参加の推進に向けて体制の整備を図りました。

また、障がいのある方の地域生活支援をより充実させるため、令和7年1月には「泉大津市基幹相談支援センター」を新たに開設し、関係機関との連携を図りながら、包括的かつ継続的な相談支援体制の強化に取り組み始めました。

経済的困窮世帯への支援では、コロナ特例貸付終了後も引き続き必要な世帯に対する個別相談や、償還猶予・免除に関する手続き支援を丁寧を実施し、自立支援の観点から多角的な対応を行いました。

さらに、近年頻発する自然災害に備え、災害ボランティアセンター事業の強化を図り、シミュレーション訓練の実施、新規ボランティアの募集や研修会の開催を通じて、地域防災力の向上にも取り組みました。

このように令和6年度は、「支え合い」「つながり」「協働」をキーワードに、地域住民一人ひとりが安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして、さまざまな活動を展開しました。

なお、重点目標に基づく各事業の取組は、以下のとおりです。

<重点施策の取組事項>

1. 支え合い助け合う意識の向上

地域福祉を推進するためには、全ての人が尊重され、尊厳をもって生きることができるよう、お互いに認め合い、一人ひとりが福祉に関心を持ち、福祉活動を経験することが重要です。地域福祉に関する市民や団体、民間事業者などの意識を醸成するため、福祉教育の充実を図り、福祉活動に関わる人の拡大に取り組みました。

(1) 地域や学校への福祉教育の推進

① 小学校等での福祉学習指導等

小学校等において手話や点字を学習する機会提供を、ボランティア連絡会の協力のもと実施した。

- ア 点字学習 2回（旭小学校、条南小学校）
- イ 手話学習 3回（旭小学校、条南小学校、上條小学校）
- ウ 車椅子学習 2回（旭小学校、条南小学校）
- エ 紙芝居体験 1回（条南小学校）



車椅子学習

② 福祉のつどい

小地域ネットワーク活動において、多世代の地域住民が集い学習できる福祉のつどいを実施した。

地区	名称	内容
宇多地区	宇多地区福祉のつどい	体操、アトラクション
旭地区	笑いまショウ	講演、アトラクション
楠地区	くすのき福祉のつどい	講演、アトラクション
条東地区	条東地区福祉のつどい	講演
浜地区	元気ハツラツスクール	講演、アトラクション

(2) 地域における世代間交流の推進

小地域ネットワーク活動のグループ援助活動において、地域の子どもから高齢者まで世代間での交流活動を実施した。

地区	回数	参加人数
宇多地区	1回	65人
戎地区	1回	65人
旭地区	7回	131人
条南地区	5回	275人
条東地区	1回	155人
浜地区	10回	575人
合計	25回	1,266人

2. 小地域ネットワーク活動の推進

地域住民などと連携し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、子育て世帯、障がいのある人、高齢者などの生活実態の把握に努め、地域生活課題を共有し解決に向けた取組を行いました。支援の必要な人が地域のなかで孤立することのないよう、また、困った時に地域で気軽に相談できるよう日常の見守りや声かけなどの活動を広げ、市民・団体・関係機関・行政などが協力しながら地域で支え合える仕組みづくりに取り組みました。

(1) 地域で活動する各団体の高齢者など見守り活動の支援

ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

同意のあった70歳以上のひとり暮らし高齢者に対して、福祉委員が見守り訪問を実施した。

実施月	訪問戸数	配布物名
5	893	箱ティッシュ
7	889	箱ティッシュ
9	891	箱ティッシュ
11	879	箱ティッシュ
1	892	箱ティッシュ
3	880	箱ティッシュ
合計	5,324	

(2) 小地域ネットワーク活動の推進支援

おおむね小学校区を単位とする市内9地区において要援護者一人一人を対象に、保健・福祉・医療の関係者と住民が協働して、見守り・援助活動を行った。

①声かけ見守り（個別支援活動）

地区数	延べ対象者数	訪問回数
9	10,567	10,580

②グループ援助活動

内容 地区数	食事サービス		いきいきサロン		地域リハビリ		子育て支援		世代間交流		その他の活動	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
9	100	1,819	647	10,534	305	3,973	4	68	25	1,266	9	770

(3) 地域関係団体の情報共有の充実

小地域ネットワーク活動宇多地区推進会 3回
 小地域ネットワーク活動楠地区推進会 3回
 小地域ネットワーク活動浜地区推進会 6回

3. 防災・減災対策の強化

災害など緊急時に対応できる体制を市民と連携しながら強化を図るとともに、市民・団体への意識づけに取り組みました。

(1) 地域のネットワークづくりに向けた防災の講習会の充実

・第1回災害ボランティアセンター研修会

実施日 令和6年6月26日（水）

場 所 総合福祉センター3階第一会議室

参加人数 33名

内 容 能登半島地震の災害ボランティアセンター運営支援に携わって～石川県七尾市災害ボランティアセンター運営支援報告～

・第2回災害ボランティアセンター研修会

実施日 令和7年1月31日（金）

場 所 テクスピア大阪 大ホール

参加人数 64名

内 容 災害への備え 地震・津波災害とは ～地震・津波災害から命を守る、暮らしをつなぐ～



災害ボランティアセンター研修会

(2) 災害ボランティアの拡充

災害ボランティアセンターシミュレーション訓練時等に災害ボランティア登録を啓発した。年度末登録者数 35 名。

(3) 災害ボランティアセンターの充実・強化

・令和6年度災害ボランティアセンターシミュレーション

実施日 令和6年11月4日（月・振休）

場 所 東雲公園グラウンド

参加人数 351名

内 容 災害ボランティアセンターシミュレーション、ぜんざい炊き出し、泉大津市赤十字奉仕団による日本赤十字啓発



災害ボランティアセンターシミュレーション

4. 総合的な相談支援体制の充実

全ての人が、身近な地域で、住み続けることができるよう、相談窓口や、福祉サービスのさらなる充実に取り組むとともに、総合的な対応できる体制を整備します。また、必要な人に必要なサービスが行き届くよう、発見・対応の仕組みづくりを地域と協働して進めていきます。

(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた総合相談事業の推進

①高齢者やその家族などから介護や生活などに関する相談を受け対応した。

電話	訪問	来所	会議	その他	合計
954	21	516	12	11	1,514

②福祉なんでも相談

司法書士と連携し、一般市民及び専門職を対象として第2・4金曜日に福祉相談を行った。
開催回数 16回 相談件数 25件

(2) 自立相談支援事業の推進

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者の状態に応じた相談を受け、自立に向けた支援を行った。

相談件数 219件 相談支援件数 2,287件



農作業体験

5. 社会福祉協議会サービスの充実と提供

社会福祉協議会の取組や事業、活動内容、サービスについて周知し、必要な人にサービスが行き届くよう取り組むとともに、サービスの質の向上に取り組んでいきます。

(1) 地域包括ケアシステムの推進

個別事例の検討を通じて、多職種協働による要援護高齢者への支援及び地域のネットワークの構築及び泉大津市版の地域包括ケアシステムの構築のための取組を行った。

包括ケア会議	1回
権利擁護部会	4回
自立支援部会	12回
認知症部会	2回

(2) 地域福祉推進の中核的担い手としての人材の育成

府社協等の研修会を活用し、中堅職員研修や課題別研修などの職員研修を実施した。